

入場無料
一般聴講
歓迎！

(一社)富山県建設業協会青年部 新春講演会 「三方良しの公共事業改革」

—住民の方々に“ありがとう！”と言われる現場に—

“三方”とは、「住民」「企業」「行政」の三つを指します。「三方良しの公共事業改革」とは、作り手である企業と行政は共に協力し、使い手である住民へより良いものをタイムリーに提供していくための考え方です。

三方良しの公共事業改革の実現により、「住民＝インフラの早期完成により安心・安全が確保される」「行政＝高品質のインフラをより速く整備することができる。企業利益の増加により税収が増える」「企業＝工事評価が上がる。適正利益の確保に繋がる」といった、それぞれのメリットが生まれます。このメリットを実現し、建設企業が地域に貢献し続けるための手法を現場の実践事例も含めながらわかりやすく学びます。

日時：平成26年2月7日(金) 15:00～17:30
場所：ANAクラウンプラザホテル富山3階「鳳」
主催：(一社)富山県建設業協会青年部、
富山県土木施工管理技士会
後援：東日本建設業保証(株)富山支店
(公財)富山県建設技術センター
内容：15:00～16:30 講演
16:40～17:15 事例発表
17:15～17:30 質疑応答
定員：200名 CPDS：3ユニット

講師 ゴールドラット・コンサルティング・ジャパン 代表取締役 岸良裕司氏



■講師紹介

岸良 裕司(きしらゆうじ) 1959年生まれ
ゴールドラット・コンサルティング・ディレクター。日本TOC推進協議会理事。
全体最適のマネジメントサイエンスであるTOC(Theory Of Constraint:制約理論)をあらゆる産業界、行政改革で実践し、活動成果の1つとして発表された「三方良しの公共事業」はゴールドラット博士の絶賛を浴び、07年4月に国策として正式に採用された。08年4月、ゴールドラット博士に請われて、ゴールドラット・コンサルティング・ディレクターに就任。ゴールドラット博士の思索にもっとも影響を与えた一人と言われている。

そのセミナーは、楽しく、わかりやすく、実践的との定評がある。著作活動も活発で、ものごとの本質を深く見つめるユニークなスタイルで読者の共感をよび、ベストセラーを多数出版している。海外の評価も高く、様々な言語で、本が次々と出版されている。

著書

『全体最適の問題解決入門』(ダイヤモンド社) 『過剰管理の処方箋』(かんき出版)
『職場の理不尽』(新潮社) 『マネジメント改革の工程表』(中経出版)
『全体最適のプロジェクトマネジメント』(中経出版) 『三方良しの公共事業改革』(中経出版)
『よかれの思い込みが会社をダメにする』(ダイヤモンド社) 『実学社長のマーケティング』(中経出版)

(一社)富山県建設業協会青年部「新春講演会」申込書

申込先 (一社)富山県建設業協会 (FAX:076-432-5579)

担当：寺島、山縣

氏名	所属・会社名	役職